武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和８年度９月号
統括校長　飯星　健司
令和８年９月１日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

防災対策・確認を

統括校長　飯星 健司

自衛防災訓練の実施

１学期（６月１９日）に都内の小学校で火災が発生したことは記憶に新しいことでしょう。本校でもホコリの除去やコンセントに不必要なプラグが差されていないかなど校内にあるいろいろな教室や準備室を点検しました。

また、８月２８日（金）に北多摩西部消防署の方に来ていただき、自営防災訓練（校内の防災機器の使い方や避難の時の注意点など）を実施し、いざというときに私たち教員が安全に児童・生徒を避難させられるように知識の習得と訓練を行いました。

火事が発生した時には、
①姿勢は、できるだけ低くして進む。（視界と新鮮な空気を確保）
②ハンカチ、タオル等で口鼻を覆う。（煙を吸わないように）
③ 視界が悪い時は、壁伝いに進む。（方向感覚を失わないように）
④いったん避難したら、戻らない。
という４点について再確認をしました。

防災の日（地震が発生したときは・・・）

７月２８日に熊本で震度７の地震がありました。また、千葉県でも８月１３日から１４日にかけて豪雨により大きな被害を受けました。一日も早い復興と被災された方々の生活の安定、そして心身の健康を深くお祈り申し上げます。

また、この地震や豪雨でお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げます。

地震はいつ起こるか分かりません。大型地震が起こるとライフラインが絶たれてしまいます。仮に首都直下型大地震が起きたとすると、ライフライン復旧の目標日数は、電気が６日、上水道が３０日、ガスが５５日とされています。各自治体では、飲料水一人当たり１日3ℓを３～７日分に加えて、１日当たりおよそ3ℓの生活用水を自助の備蓄として確保するよう求めています。普段の生活では、３分間のシャワーで３６ℓ、入浴１回分で１４０～２００ℓもの水を使用しているそうです。

いざという時のための水の確保をしておく必要がありそうです。また、防災グッズなども準備しておくとさらに良いと思います。

この機会に各家庭で火事が起きた時や地震が起きた時の対応について、どのようにしておくか確認をしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

今学期も本校の教育活動への御理解と御支援をよろしくお願いいたします。